

平成30年度 佐那河内果樹アグリスクール



すだちの摘果・摘葉(実習)



防除について(座学)



キウイの収穫・貯蔵について(実習)



みかんの剪定(実習)

実施期間 平成30年6月20日(水)～平成31年3月12日(火)

講義回数 10回

受講生 17名

修了者 13名(8割以上出席者)

佐那河内果樹アグリスクール実施計画書

1. 目的

本会は佐那河内果樹アグリスクールと称し、果樹生産者に対し、栽培技術の向上や栽培技術の継承を目的とする。

2. 概要

受講生を募集し、1年を通して果樹の栽培技術講習会を行う。講師は村内外から選任し、座学及び現地研修で栽培技術の習得を目指す。

3. 受講要件

村内に在住もしくは村内に耕作園地のある者。

村内で就農を目指す者。

佐那河内村に関わりの無い者(村外在住・園地無し・村内での就農予定無し)については、資料代等として5,000円を負担できる者。

4. 講習概要

みかん・すだち・キウイを中心に果樹における栽培技術講習会を開催する。講習会は1ヶ月1回程度、年間10回程度とする。(初年度は5回程度)

年間カリキュラムについては、農業振興協議会・農業指導班会などに意見を聞きながら作成する。

受講生は公募とし、定員は約20名とする。1回1単位の単位制とし、8割(小数点未満切り捨て)以上取得した受講生には修了証書を交付する。また、修了後の再受講は妨げない。

5. 実施主体及び体制

実施主体は佐那河内村とし、校長に村長、産業環境課に事務局を置く。

6. 講師

講師は佐那河内村内外の農家及び有識者を校長が選任する。

7. 講師謝金

村内講師の謝金は1回(午前もしくは午後を1回とする。)あたり5千円とする。

村外講師については、講師との協議により決定する。

計画実施

平成29年 8月31日

平成30年 4月18日 変更

受講要件 村内で就農を目指す者。を追加

平成30年 6月 5日 変更

受講要件 佐那河内村に関わりの無い者(村外在住・園地無し・村内での就農予定無し)については、資料代等として5,000円を負担できる者。を追加

平成30年度 佐那河内果樹アグリスクール日程表

回数	開催日 場 所	主な内容			
		午前 (10:00~12:00)	講師	午後 (13:00~15:00)	講師
第 1 回	6月20日(水) 農振センター	開校式(9:00~)			
		防除について(座学)	技術 支援C 中西		
	6月28日(木) 村内園地			すだちの摘果・摘葉(実習)	大仲
第 2 回	7月 5日(木) 農振センター	施肥と灌水について(座学)	技術 支援C 新居	肥料の種類と使用について (座学)	全農 松岡
第 3 回	8月 7日(火) 役場3F 村内園地	すだちの収穫と冷蔵につい て(座学)	技術 支援C 津村	すだちの収穫について (実習)	大仲
第 4 回	9月27日(木) 農振センター			果樹の経営について(座学)	支援C 筈井
第 5 回	10月16日(火) 農振センター	鳥獣害について(座学)	県庁 吉田	鳥獣害の対策について (座学及び現地研修)	役場 上野
第 6 回	11月2日(金) 村内園地	キウイの収穫・貯蔵につい て(実習)	市原	みかんの収穫・貯蔵管理に ついて(実習)	西岡
第 7 回	12月21日(金) 農振センター 村内園地	果樹の剪定の基本と落葉果 樹の苗木植え付けについて (座学)	J A 長谷部	キウイの剪定の実習(実習)	市原
第 8 回	1月10日(木) 農振センター	接ぎ木の話(座学)	西岡	果樹の総論(座学)	J A 長谷部
第 9 回	2月27日(水) 村内園地	すだちの剪定(実習)	J A 長谷部	みかんの剪定(実習)	技術 支援C 安宅
第10回	3月12日(火) 村内園地 農振センター	常緑果樹の苗木植え付けに ついて(実習)	技術 支援C 安宅	キウイの結実管理について (座学)	支援C 岡島
				修了式(15:00~)	

平成30年度 佐那河内果樹アグリスクール講師名簿(敬称略)

No.	所 属	講師氏名	内 容
1	徳島県 農山漁村振興課	吉田 洋	鳥獣害について
2	農林水産総合技術支援センター 高度技術支援課	中西 友章	防除について
3	農林水産総合技術支援センター 高度技術支援課	安宅 雅和	みかんの選定・常緑果樹苗木植付
4	農林水産総合技術支援センター 資源環境研究課	新居 美香	施肥と灌水について
5	農林水産総合技術支援センター 農産園芸研究課	津村 哲宏	すだちの収穫と冷蔵について
6	東部農林水産局農業支援センター 農業支援第一担当	筈井 亮治	果樹の経営について
7	東部農林水産局農業支援センター 農業支援第一担当	岡島 さつき	キウイの結実管理について
8	全農とくしま 生産資材部	松岡 一也 井原 耕司	肥料の種類と使用について
9	徳島市農協 南部営農経済センター	長谷部 秀明	剪定の基本と落葉果樹の苗木植付け 果樹の総論 すだちの剪定
10	農 家	市原 善文	キウイの収穫・貯蔵 キウイの剪定
11	農 家	大仲 保	すだちの摘果・摘葉 すだちの収穫
12	農 家	西岡 優	みかんの収穫・予措・貯蔵 接ぎ木
13	佐那河内村役場 企画政策課	上野 浩嗣	鳥獣害の対策について

平成30年度 佐那河内果樹アグリスクール参加者名簿

番号	氏名	住所	募集対象	年齢
1	A	上板町	新規就農者	66
2	B	徳島市	その他	57
3	C	徳島市	農業担い手	45
4	D	佐那河内村	新規就農者	66
5	E	阿南市	農業担い手	67
6	F	徳島市	新規就農者	67
7	G	佐那河内村	農業担い手	33
8	H	佐那河内村	新規就農者	46
9	I	佐那河内村	農業担い手	62
10	J	佐那河内村	農業担い手	62
11	K	阿南市	その他	77
12	L	佐那河内村	農業担い手	69
13	M	徳島市	新規就農者	64
14	N	佐那河内村	新規就農者	63
15	O	徳島市	新規就農者	66
16	P	藍住町	農業担い手	62
17	Q	佐那河内村	農業担い手	61

平成30年度 佐那河内果樹アグリスクール 実績

佐那河内村では、平成29年度より果樹の栽培技術の向上と継承を目的に、『佐那河内果樹アグリスクール』を開校しています。2年目の平成30年度は村外の方も受講できるように変更し、計10回の講義を行いました。17名の参加があり、13名が修了しました。

- 平成30年度 佐那河内果樹アグリスクール開校式
日時：平成30年6月20日(水) 9:00～
場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室



●第1回講義【午前の部】「防除について」(座学)

日時：平成30年6月20日(水)10:00~12:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室

講師：徳島県立農林水産総合技術センター 高度支援課 課長補佐 中西 友章 さん

参加人数：16名

内容： 果樹の病害虫の種類と対応する防除についてのお話がありました。症状が出てからの防除は遅い場合もあり、栽培歴に書かれてある時期に適正な防除を行うことが大切であるとのことでした。



●第1回講義【午後の部】「すだちの摘果・摘葉」(実習)

日時：平成30年6月28日(木)13:00～15:00

場所：大仲さん園地

講師：大仲 保 さん

参加人数：15名

内容：雨天による延期をしていたすだちの摘果・摘葉の実習を大仲さんの園地で行いました。すだちは熟す前に収穫する作物であり、みかんの様に味を重視する作物ではないこと、緑色の見た目と大きさが大切であること、重なった果実や葉を摘果・摘葉することで果実の緑色を確保し、実を太らせることであるとの話がありました。

どの実を残し、どの実と葉を落とすのかを聞いた後、受講生2人で1本の木を摘果・摘葉する実習を行いました。



●第2回講義【午前部】「施肥と灌水について」（座学）

日時：平成30年7月5日（木）10:00～12:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター 1 階会議室

講師：徳島県立農林水産総合技術センター 資源環境研究課 新居 美香 さん

参加人数：16名

内容： 作物から見た良い土壌には、物理性・化学性・生物性の3要素があり、物理性として、有機物を入れ、土を単粒構造から団粒構造に変えることで、空気や水を保持できるとのことでした。

また、土壌診断をすることで、pHやECを知ることができ、土壌が適正かどうかや不足や過剰がある場合は、土壌改良の対策ができるので、作が終わった冬に土壌診断をすることが大切であるとのことでした。

葉や実の症状でどの成分が不足や過剰になっているか、またその対策についての説明がありました。



●第2回講義【午後の部】「肥料の種類と使用について」（座学）

日時：平成30年7月5日（木）13:00～15:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター 1 階会議室

講師：JA全農とくしま 肥料農薬課 松岡 一也 さん

JA全農とくしま 肥料農薬課 井原 耕司 さん

参加人数：16名

内容： 初めに松岡さんより、肥料の種類と使用について講義がありました。普通肥料と特殊肥料との違い、無機質肥料と有機質肥料の違いや果樹園の土づくりについての話がありました。具体的な有機肥料や化学肥料を参考に、窒素・リン酸・カリの保証成分率や特徴をお話していただきました。

その後、井原さんより、有機肥料の役割と近年問題となっている温暖化に対する果樹の対応として、乾燥害や高温・多雨に対する対策のお話がありました。



●第3回講義【午前の部】「すだちの収穫と冷蔵について」（座学）

日時：平成30年8月7日（火）10:00～12:00

場所：佐那河内役場 3 階ホール

講師：徳島県立農林水産総合技術センター 農産園芸研究課 津村 哲宏 さん

参加人数：15名

内容：すだちの貯蔵について、果実の緑色を長く保持するために、

①緑色の濃い果実を作ること

②収穫果実は丁寧に扱うこと（果実に傷や衝撃を与えないことや、切り口はへたを残して水平に切ることなど）

③予措では、秤で計測し、短期貯蔵で3～5%、長期貯蔵で5～7%の水分減とすること

④袋詰めは厚さ0.025mmのポリエチレン袋に1.5～2.0Kg入れて密封すること、冷蔵貯蔵庫では袋同士が密着しないようにし、貯蔵温度は貯蔵庫が満杯になるまでは8℃で維持し、1日0.1℃の割合で降下させ、10月上旬に5℃とすること、その後は様子を見ながら年末までに3～4℃まで降下させる

といったお話がありました。



●第3回講義【午後の部】「すだちの収穫について」(実習)

日時：平成30年8月7日(火)13:00～15:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター2階大会議室および大仲さん園地

講師：大仲 保 さん

参加人数：17名(内2名はすだち収穫アルバイトの予定者)

内容： 初めに、会議室で雨量や出荷価格について大仲さんよりお話をいただいた後、実際のすだちを使って、切り方の実習を行いました。

その後、園地で実際の収穫を行いました。今年は雨量が少ないため、実太りが遅く、収穫できる果実が少なかったため、摘果・摘葉作業も併せて行いました。

この講義には、佐那河内村無料職業紹介所を通してすだち収穫のアルバイトを予定している2名も参加しました。



●第4回講義【午後の部】「果樹の経営について」（座学）

日時：平成30年9月27日（木）13:00～15:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター 1 階会議室

講師：徳島農業支援センター 徳島ブランド推進担当 笥井 亮治 さん

参加人数：12名

内容： 果樹の経営について、単一経営と複合経営の違いや利点のお話をはじめ、すだち・みかん・キウイの作業内容と作業時間の違いや改植のタイミングと改植の方法（一挙更新・補植改植・接ぎ木）のお話がありました。また、すだち・みかん・キウイの経営指標をもとに10aあたりの必要経費や概算所得のお話がありました。



●第5回講義【午前の部】「鳥獣害について」(座学)

日時：平成30年10月16日(火)10:00～12:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室

講師：徳島県農山漁村振興課 ふるさと創造室 吉田 洋 さん

参加人数：14名

内容： 農作物に特に被害の多い、イノシシ・シカ・サル・ハクビシン・アライグマについて、それぞれの生態や行動について、動画を交えながらお話がありました。防護柵を設置するにあたり、柵が途切れないように設置することや、電気柵を合わせて設置することが効果があるとのことのお話でした。
また、住処になる耕作放棄地を減らすことが重要であるとのことでした。



●第5回講義【午後の部】「鳥獣害の対策について」（座学及び現地研修）

日時：平成30年10月16日（火）13:00～15:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室および大川原

講師：佐那河内村役場 企画政策課 上野 浩嗣 さん

参加人数：14名

内容： 佐那河内村役場で昨年度まで鳥獣害対策担当であった上野さんに佐那河内村の鳥獣害対策についてお話をいただきました。初めに、会議室で佐那河内村の被害状況やその対策としての檻の設置やモンキードッグの導入等、また昨年度の駆除数等のお話がありました。

その後、大川原に設置しているシカの大型捕獲檻や処理施設を見学し、研修を行いました。



●第6回講義【午前の部】「キウイの収穫・貯蔵について」（実習）

日時：平成30年11月2日（金）10:00～12:00

場所：日下さん園地

講師：市原 善文 さん

参加人数：17名（農政局職員2名・くゆな農園上野さん含む）

内容： 初めに、講師である市原さんの園地を見学しました。市原さんの園地は、1本の木で2a程を形成する変わった作り方をしていますが、今年も大きな実がたくさんついていました。

その後、日下さんの園地に移動し、実際に収穫を行いました。収穫後は、JA選果場で共同冷蔵庫と今年より導入したキウイの選果機を見学しました。

また、当日は中四国農政局より広報の取材があり、中四国農政局職員2名と吉野川市でキウイを栽培されている「くゆな農園」の上野さんも一緒に作業をしました。



●第6回講義【午後の部】「みかんの収穫・貯蔵管理について」（座学）

日時：平成30年11月2日（金）13:00～15:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室

講師：西岡 優 さん

参加人数：13名

内容：西岡さんよりみかんの収穫・貯蔵管理だけではなく、みかんの栽培技術全般についてお話をいただきました。佐那河内村で多く作られている十万温州の収穫は11月下旬から12月下旬で、近年は温暖化で着色が遅れているようです。着色の良し悪しで味の差があり、管理も違うとのことでした。着色7分以上であれば予措をして、通常管理をしますが、着色不良は収穫を遅くするか、追熟予措をして通常管理を行う分割採取が大切であるとのことでした。



●第7回講義【午前の部】「果樹の剪定の基本と落葉果樹の苗木の植え付けについて」
(座学)

日時：平成30年12月21日(金)10:00～12:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室

講師：徳島市農協 南部営農経済センター 長谷部 秀明 さん

参加人数：14名(農政局職員1名含む)

内容： 初めに、落葉果樹類の植え付けについてお話がありました。植え付け時期は、落葉果樹は新根発生前の冬季、常緑果樹は地上部発芽前の春季が良いとのことでした。植え付け準備として、掘り上げた土に苦土石灰・ヨウリンを混和して埋め戻すことや、植え付けの際に根部の土を洗うこと、根の折損部は直上で切徐し、台木を少し地上に出す形で植えることなどのお話がありました。

剪定については、目的や切る場所、整枝の種類などのお話があり、種類による結果習性を理解した上でCN率を考慮して剪定を行うことが大切であるとのことでした。



●第7回講義【午後の部】「キウイの剪定の実習」(実習)

日時：平成30年12月21日(金)13:00～15:00

場所：日下さん園地

講師：市原 善文 さん

参加人数：14名(農政局職員1名含む)

内容： 収穫を実習した日下さんの園地で剪定の実習を行いました。講師の市原さんより、来年実を付ける強い結果母枝を残し、弱い枝や不要な枝を剪定し、結果母枝を棚に括り付けるまでの工程の説明がありました。
その後、講師の先生や園主に聞きながら、各自剪定の実習を行いました。



●第8回講義【午前の部】「接ぎ木の話」(座学)

日時：平成31年1月10日(木)10:00～12:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室

講師：西岡 優 さん

参加人数：11名(県職員1名含む)

内容： 接ぎ木の時期については、芽が出る前から芽が出た頃が良く、芽が出る前に穂木を採取し、冷蔵庫で保管すること。接ぎ木後の注意として、枝の切り口にはゆごう剤や木工用ボンドで乾燥を防ぐことや長く伸長したら支柱で固定し、台風などの強風に備えることなどのお話がありました。

はぎ接ぎや芽接ぎ、腹接ぎなどの接ぎ方の種類の説明があった後、みかんと柿の枝を使い、接ぎ木の模擬を行いました。



●第8回講義【午後の部】「果樹の総論」(座学)

日時：平成31年1月10日(木)13:00～15:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室

講師：徳島市農協 南部宮農経済センター 長谷部 秀明 さん

参加人数：11名

内容： 果樹栽培の特性として、気候に応じた栽培が大切であること(適地適作)や野菜と違い、未収穫期間が長いこと(7～10年)、常緑果樹と落葉果樹の違いなどのお話がありました。

花芽分化としてのCN率のお話や果実肥大はみかん・すだちは3段階、キウイは5段階といったお話があり、果樹の特性について、詳しく知ることができました。



●第9回講義【午前の部】「すだちの剪定」(実習)

日時：平成31年2月27日(水)10:00～12:00

場所：中川さん園地

講師：徳島市農協 南部営農経済センター 長谷部 秀明 さん

参加人数：12名

内容： 村内中川さんの園地をお借りし、すだちの剪定の実習を行いました。剪定は、上部から実施し、上から三角になるように剪定を行うこと、すだちはみかんと違い、実全体に陽が当たるように剪定を行うこと、など初めに講師の長谷部さんより剪定の見本をしてもらった後、2人1組で1本の木を剪定しました。



●第9回講義【午後の部】「みかんの剪定」(実習)

日時：平成31年2月27日(木)13:00～15:00

場所：日下さん園地

講師：徳島県立農林水産総合技術支援センター 高度支援課 安宅 雅和 さん

参加人数：12名

内容： 午後からは、日下さんの園地をお借りし、みかんの剪定の実習を行いました。初めに講師の安宅さんより、剪定の方法について、剪定は上部から行い、陽が入るように3角形の木を作ること、無効容積を減らすように、剪定で木を作ること、裏年の木は間引き剪定で弱めの剪定を行う、など剪定の基本のお話がありました。その後、数名1組で講師先生からアドバイスを頂きながら、実際に剪定を行いました。



●第10回講義【午前の部】「常緑果樹の苗木植え付けについて」（実習）

日時：平成31年3月12日（火）10:00～12:00

場所：岩城さん園地

講師：徳島県立農林水産総合技術支援センター 高度支援課 安宅 雅和 さん

参加人数：14名

内容： 村内岩城さんの園地をお借りし、常緑果樹の苗木植え付けの実習を行いました。普通温州みかんで10aあたり当初 $2\text{m} \times 2.5\text{m} = 200$ 本→間伐後 $4\text{m} \times 5\text{m} = 50$ 本を目安に植えること、穴は直径1m、深さ30～40cmとして、細根はそのままにし、根をひろげて深植えにならないよう台木を出して植えること、1年生の苗木では接ぎ木部上30～40cm節下で切り返すといった説明があり、実際に10本の苗木を植え付けました。



●第10回講義【午後の部】「キウイの結実管理について」（座学）

日時：平成31年3月12日（火）13:00～15:00

場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室

講師：徳島農業支援センター 徳島ブランド推進担当 岡島 さつき さん

参加人数：12名

内容： 徳島農業支援センター 岡島さつきさんをお迎えし、「キウイの結実管理」を含め、キウイの栽培についてお話を聞きました。キウイの特徴として、受粉が必要なこと、キウイの果実肥大は満開から1カ月でほぼ決まること、夏場に光が当たるように剪定が必要なことなどの説明がありました。

また、食べるためには、追熟が必要で、一週間程度りんごと一緒にポリ袋に入れ、上下に持って少しへこむくらいが食べごろになるとのことでした。



- 平成30年度 佐那河内果樹アグリスクール 修了式
日時：平成31年3月12日(火)15:00～
場所：佐那河内村農業総合振興センター1階会議室
修了者：13名

平成30年度 佐那河内果樹アグリス쿨의 修了式を行いました。今年度は10回の講義を行い, 13名に修了証書を授与しました。校長である岩城村長および佐那河内農業振興協議会 加藤会長よりご挨拶をいただきました。

